

令和7年度 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議 意見まとめ

1 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた取組みについて、構成員の皆様から見たご意見についてお答えください。

問1) 「除排雪の効率化」に関する取組みについて

(1) 令和7年度の新潟市の取り組みは評価できますか。

評価できる…7 評価できない どちらともいえない

(2) そのほか、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・ICT技術の活用した定点カメラの増設など3年間で大いに進歩したと評価します。
- ・蓄積した運行管理システムのデータを活用し、次期に向け機械の稼働時間の見直しや雪捨て場の増設等に取り組んでおり、評価できると思います。
- ・引き続き、各種データの活用に加え、新技術の活用においては、適時において効果の検証を図り、除排雪作業の省力化と効率化に反映させていただきたいと思います。
- ・定点カメラの増設にあたっては、第一種除雪区分であるバス路線における例年の交通支障箇所に設置することで、除雪の効率化を図ってほしい。
- ・除雪作業と凍結防止剤散布作業の連携強化にあたっては、除雪と散布のタイミング、順序の連携であり、散布をするから除雪をしない箇所が出ないよう、注意すべき。

問2) 「市民広報の積極的な展開」に関する取組みについて

(1) 令和7年度の新潟市の取り組みは評価できますか。

評価できる…7 評価できない どちらともいえない

(2) そのほか、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・降雪する時間帯により、渋滞の要因になることから除雪を機動的に実施できない事情やかき分け除雪を優先することなど、繰り返しPRしていくことで、市民の理解が深まっていくものと思います。継続は力なり。
- ・具体的な行動変容の事例として、大雪の天気予報が出されたら、豪雪後1週間は自由に行動できなくなることを想定し、食料品の事前買い出しの必要性に加え、灯油や常用薬の受け取りなどの例も掲載して、多様な方が自分事として備えることについても啓発してみてはどうか。
- 市民が自ら情報入手して、事前準備することで、危険にさせられる確率が下がることを強調していくべき。

・新たな施策としてユーチューブを活用した広報活動を検討中とのことですですが、老若男女を問わず非常に有効かつ効果的な広報媒体となるのではないかと期待しております。

ぜひ実現に向けてご尽力をいただき、広報実施後には効果や反響等について検証を行うとともに、検証結果を市民の耳目を集める広報活動に生かしていただきたいと思います。

また「大雪は災害」とする意識付けは、幼少期からの啓発活動が効果的と思われます。今後も小中学生を対象とした出前授業等を市全域で持続的に開催していただければと思います。

・様々な広報手段で「大雪が災害であること」の啓発が図られつつあることから、今年度は学校を含め新潟市役所が出来る行動変容を実施するタイミングと考える。

・もう少しレベルごとの行動区分を決めてPRすべきかと思います。

(例:「レベル2: 買い物を済ませておく、レベル3: 高校休校、外出自粛」など)

問3) P D C Aサイクルに基づいた検証の実施状況(検証体制や手法)について

(1) 令和7年度の新潟市の取り組みは評価できますか。

評価できる…7

評価できない

どちらともいえない

(2) そのほか、ご意見がありましたらご記入ください。

・前年度の教訓を踏まえた現実的な対応策が策定されており、年々進化していると評価する。

・雪の降り方や、除雪を取り巻く社会情勢、新技術など、日々の変化に対応できる体制はすばらしいと思います。

・前年度のチェックにおいて、意見照会だけであればシーズン後すぐに行った方が良い。

2 その他課題について

上記のほか、ご意見がありましたらご記入ください。

・新潟市内は常時積雪があるわけではないので、人員、予算の確保が大変な中、市はよくやっていると思う。少しでもよりよい除雪を目指していってもらいたい。